

# みたか環境ひろば 第61号

平成 29年 10 月 1 日号



## 散策におすすめの公園

快適な居住環境に公園は欠かせません。三鷹市内には、井の頭恩賜公園や野川公園など、都内有数の公園が存在しています。

今回は、三鷹市近郊に存在し、訪れる人が比較的少ない穴場のスポットをご紹介します。

まずは武蔵野公園。野川公園のすぐ北西にあります。

公園の北側は野川の流域になっていますが、南側は樹木が多く森林浴をするには絶好だと思います。日差しは木漏れ日程度なので真夏のウォーキングでもそれほど苦になりません。爽やかな空気、一面の緑、そして樹木の香りと発散する精気を実感することができます。

森林浴には癒し効果があるとされ、海外でも日本発祥のshinrin-yokuが新しい健康法として注目されているようです。

次におすすめの公園は浅間山公園。多磨霊園の西側に隣接しています。

街の中とは思えない自然の景観、点在する小高い丘、クヌギなどの雑木林、起伏に富んだ遊歩道・・・。

園内を歩くとちょっとしたトレッキング気分を味わうことができます。毎年5月になると、全国でここだけに自生するといわれるムサシノキスゲが橙色の花を咲かせてくれます。この時期は少し人出が多くなるかもしれません。

以上は、三鷹市から近く、散策におすすめのやや小さな都立公園です。(津田)



★ 森林の様子 (イメージ) ★

## スマートメーター、HEMSを有効活用した省エネ・省CO<sub>2</sub>の行動 投稿者:灰塚 政美

今回、市民の方から「スマートメーター、HEMSを有効活用した省エネ・省CO<sub>2</sub>」について記事が寄せられましたのでご紹介します。

※本誌への記事の寄稿については「みたか環境ひろば第58号」をご覧ください。

東日本大震災(3.11)から6年が経過しました。現在行われている電力自由化は、3.11後の電力供給不足が一つのきっかけです。東京電力管内においては、2020年度までに従来の電力メーターからスマートメーターに換わると言われています。

スマートメーターは、30分毎の電気使用量を計測する機能や通信機能をそなえた新しい電気メーターです。各家庭から取得された1日に48回の細かなデータからは、その家庭のライフスタイルが推察できます。自分のライフスタイルがわかると、節電・省エネに取り組みやすくなり、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)「生活の質」の向上が期待できます。ICT(情報通信技術)を活用したHEMSとの連携は、家庭で使う電気やガスなどのエネルギー量をリアルタイムで「見える化」し、効率的なエネルギー制御を可能にします。

HEMS(へムス)(家庭用 エネルギー マネジメント システム)は、家庭で使うエネルギーを賢く制御(マネジメント)するシステムです。このシステムは、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで見ることができたり、外部からスマートフォンなどで住宅内の家電を操作することができたり、家電機器を最適に制御することができます。家族がエネルギーに関心を持つようになることから、節電・省エネの意識が高まります。さらに、スマートメーターとHEMSとの連携は、ピークカット(電力需要のピークを低く抑えること)やピークシフト(ピーク時の電力使用を別の時間帯にずらすこと)に有効な手段です。(裏面に続きます。)

日本政府は、パリ協定において温室効果ガスの削減目標を「2030年度、2013年比で“26%減”」とする、高い目標を掲げ世界に約束しました。一方、家庭の省エネは、それほど進んでいないのが現状です。政府は、家庭部門における徹底した省エネ・省CO<sub>2</sub>を熱望しています。

省エネは、電源構成の一部であり、電力自由化の前に行うことが重要であると言われていま

す。  
シンプルで快適なエコライフと、心豊かな暮らしを享受できるように、スマートメーター及びHEMSを有効活用して、“楽しく”省エネ・省CO<sub>2</sub>を行いましょ！

**みたか環境活動推進会議  
委員のコメント**

パリ協定が採択され、日本政府が温室効果ガスの削減目標（2030年度に2013年度比で温室効果ガスを26%減とする）を掲げたことは大きなニュースとなっています。一方、この目標を達成するためには、今回寄せられた記事のとおり、私たち家庭分野の温室効果ガス排出量を削減することが重要です。

本記事が、皆様にとって、スマートメーターなどの新しい機器を活用した省エネ・省CO<sub>2</sub>を検討することや、節電、ごみのリサイクルなど、日常生活から地球温暖化防止に貢献する取組を実践していただくきっかけとなれば幸いです。（野口）

## 井の頭恩賜公園 夏季夜間パトロールに参加しました

井の頭恩賜公園では、都市部でありながら樹木や野鳥など、様々な自然を観察することができます。公園内の良好な環境を維持するにあたり、地域の住民・団体が協力して様々な取組が行われています。

その1つとして、井の頭恩賜公園の夏季夜間の防犯と安全を確保することを目的とした「夏季夜間パトロール」が8月に実施されました。

夜間パトロールは、東京都西部公園緑地事務所の呼びかけのもと、様々な団体が参加し、三鷹警察署、井の頭各町会（井之頭町会、井の頭玉川町会）、公益財団法人東京都公園協会、東京都西部公園緑地事務所など、総勢約50名が集まりました。公園内はかなり広いので二組に分かれて公園内をパトロールをし、利用の安全と防犯指導を行うとともに、施設の安全点検を実施しました。公園内の施設としては、公衆トイレが公園内に15か所ほどあるので、これを中心に点検見回りを行いました。今回は、喧嘩や花火をする人もおらず、問題になるようなこともなく無事終了となりました。しかし、夜間であるにもかかわらず非常に蒸し暑く、温暖化の影響を感じました。（鈴木）



## 環境掲示板

### 「スポGOMI大会 in ふじみまつり」

日時：11月26日(日) 11時30分受付(予定) 場所：ふじみ衛生組合クリーンプラザふじみ

内容：チームで参加し、定められたエリア内で拾ったごみの質と量をポイントで競い合います。

対象：三鷹・調布市民 定員：10チーム(先着順、1チーム5人以内)

料金：無料 主催：みたか環境活動推進会議

優勝、準優勝チームにはジブリ美術館招待券をプレゼント。詳細は広報みたか11月1週号をご確認ください。

問合せ：三鷹市生活環境部環境政策課(電話：0422-45-1151 内線2523・2524)

### 編集後記

8月は戦争と平和について思う月でもありました。原爆の投下、終戦から72年の歳月が過ぎ、皆様のご親族にも戦争の犠牲になられた方々がおおいでであると思います。心から哀悼の祈りを捧げます。先人の多くの犠牲と努力の結果、平和な日本が築かれ、今が在ります。

子供の頃、満点の星空を眺め、「あの星たちは、亡くなった人達の想いが光となって地上に降り注いでいるんだよ」と聞いた覚えがあります。本当であるなら、いつまでも澄みきった星空が眺められる夜空であって欲しいと思います。（平澤）

次回の発行は平成30年1月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議  
(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課  
電話 0422-45-1151 内線2523・2524

E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。